

別記第七十四号の二様式（第五十五条関係）（平29法省令22・追加、令元法省令10・一部改正）

日本国政府法務省

難 民 認 定 申 請 書（再申請用）					
法 務 大 臣 殿					
氏 名				男 女	別名・通称名等
生年月日	(年)	(月)	(日)	現在の職業	
国籍・地域（又は常居所を有していた国名）			出生地		
住居地					
	方	電話番号	携帯電話番号		
	番 号	発行・更新年月日	有効期限	発行機関	発行・更新理由
旅 券					
在留カード ／特別永住者証明書					
本邦上陸年月日	上陸港	現に有する在留資格（又は許可の種類）		在留期間満了日（又は許可の期限）	
官 用 欄					

（注）用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 番とする。

【注意事項】

以下の注意事項をよく読んだ上で質問に答えてください。

読んだ注意事項には、チェック☑をしてください。

- ☐ この申請書には、あなたが主張したい事情を全て書いてください。
- ☐ 回答に当たっては、該当する欄にチェック☑をし、記入部分には、具体的かつ詳細に書いてください。（枠内に書けない場合は、別紙を提出してください。）
- ☐ この申請書に嘘を記載したり、嘘の資料を提出した場合は、審査上不利を被ることがあります。

1 前回の難民認定申請後、国籍、家族構成、居住歴、学歴、職歴、本邦出入国歴、海外渡航歴及び宗教に変更はありますか。

☐ いいえ

☐ はい

→変更事項はどれですか。

☐ 国籍 ☐ 家族構成 ☐ 居住歴 ☐ 学歴

☐ 職歴 ☐ 本邦出入国歴 ☐ 海外渡航歴 ☐ 宗教(宗派)

→変更内容を具体的に書いてください。

2 前回は、どのような迫害事情を主張しましたか。具体的に書いてください。

3 今回は、新たに主張する迫害事情がありますか。

☐ ない

→「ない」と答えた場合、4の質問に答えた後、6以降の質問に答えてください。

☐ ある

→「ある」と答えた場合、4以降の質問に答えてください。

4 迫害を受けるおそれ以外の理由で、日本での滞在が必要な理由がありますか。

☐ ない

☐ ある

→「ある」と答えた場合、具体的に答えてください。

5 3の質問で「ある」と答えた場合、「新たな迫害事情」について、下記（1）から（6）までの質問に答えてください。

（1）「新たな迫害事情」が発生した時期は、いつですか。算用数字により西暦で書いてください。

（2）「新たな迫害事情」をあなたが知った時期は、いつですか。算用数字により西暦で書いてください。

（3）「新たな迫害事情」が発生した場所は、どこですか。

（4）「新たな迫害事情」を前回の手続で主張できなかったのはなぜですか。

（5）「新たな迫害事情」の内容を具体的に答えてください。

ア 迫害を受けたのは誰ですか。	イ 誰から迫害を受けましたか。
-----------------	-----------------

☐ あなた自身	
--------------------------------	--

☐ あなたの家族・親族	
------------------------------------	--

☐ 上記以外（具体的に書いてください。）	
---	--

ウ どのような迫害を受けたのですか。

エ 迫害を受けたのは、なぜですか。

オ 迫害と関係する本国情勢に大きな変化があった場合、それを具体的に書いてください。

（6）あなたが本国に帰国するとすれば、いかなる事態が生じますか。

ア 誰から迫害を受けるおそれがありますか。

イ	いかなる事態が生じますか。
6	今回、新たに提出する資料はありますか。 ☐ ない ☐ ある →「ある」と答えた場合、その資料の内容を具体的に書いてください。
7	現在の健康状態はどうですか。 ☐ 異常なし ☐ 異常あり →「異常あり」と答えた場合、具体的に書いてください。
8	難民調査官のインタビューを希望しますか。 ☐ 希望する ☐ 希望しない
9	難民調査官がインタビューする場合、通訳は必要ですか。 ☐ いいえ ☐ はい →「はい」と答えた場合、何語を希望しますか。()語 その他通訳に関して希望する事項があれば、書いてください。
以上の記載内容は、事実と相違ありません。 申請者（代理人）の署名 _____ 年 月 日	